

News Release



令和2年10月23日

各報道機関文教担当記者 殿

新たな「知」の創出へ —融合学域 先導学類を新設—

このたび、金沢大学は文部科学省により、**融合学域 先導学類（学士課程・4年制）の令和3年4月の設置が認められました**。平成20年度に学域学類制を導入して以降初めての学域新設であり、本学4つ目の学域となります。

複雑化・多様化するさまざまな社会的課題を解決するためには、“社会変革を先導するリーダー”となる人材が不可欠です。

先導学類では、文系・理系などの従来の枠組みにこだわらない、人文・社会・自然などの幅広い分野の学びを実現し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする「社会変革を先導する人材」の養成を目指します。

本学類の**出願受付は、特別選抜にあっては令和2年11月2日（月）から、一般選抜にあっては令和3年1月25日（月）から開始します**。

融合学域先導学類の概要および入試情報については別紙をご覧ください。

つきましては、取材・報道について、よろしくお願いたします。

<本件に関する照会先>

金沢大学学務部融合学域設置推進室

Tel : 076-264-5910

E-mail : new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

<担当>

金沢大学総務部広報室 上沼

Tel : 076-264-5024

金沢大学融合学域 先導学類の概要

■設置時期：令和3年4月1日（学生受入れ）

■目的

社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身に付けた社会変革を先導する人材を養成することを目的とする。

■修業年限・学生定員・学位

- ・標準修業年限 4年
- ・入学定員 55人
- ・編入学定員 3年次25人（令和5年4月）
- ・収容定員 270人
- ・授与学位 学士（学術）＊本学初の学位

■キーワード

文理融合（異分野融合），イノベーション，アントレプレナー，デザイン思考，多様性

■ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

先導学類では、社会変革を先導するために必要となる多様な知見を身に付けた上で、その知見を活用した思考力・発想力・実践力を獲得する。その成果として、本学類が掲げる人材養成目標及び金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（学術）の学位を授与する。

- ・社会変革を先導するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・事業創造などに高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

先導学類では、卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できるよう、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程を編成する。

専門教育科目には以下の科目群を設ける。

- ・アントレプレナーシップを醸成し、社会展開に向けた発想力と実践力を獲得するため、「先導実践科目」を設け、演習等を中心とした科目を配置する。
- ・社会変革に向けて必要となるイノベーションの根幹と、未来課題に係る多面的な最新知見を修得するため、「先導コア科目」を設け、さらに3つのコアエリアに区分し、科目を配置する。

- ・未来課題の解決に資する知見を獲得するため、「先導学知科目」を設け、多様な分野の科目を配置する。
- ・国際社会における最新の知見や他者との共創による新たな知見の獲得に向け、「先導鍛錬科目」を設け、海外留学や国際インターンシップ、グループワークを行う演習等を中心とした科目を配置する。
- ・修得した多分野に渡る知見を基に課題発見・解決や事業創造を含めた社会展開を主体的計画的に行うため、「先導確立科目」を設け、手法や理論をまとめる科目を配置する。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

先導学類では、卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できる資質を有し、次のような意欲ある入学者を求める。

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を融合し、社会変革に資する新たなモデル創成に挑戦したい人

■本学類の特徴

○3 学域の知を結集した文理融合の課題発見型教育課程

融合学域先導学類では、人間社会系、理工系、医薬保健系から文理融合型の教育・研究に実績のある教員が結集し、片寄りのない文理融合の課題発見型教育課程を編成します。

<課題発見型教育課程の編成>

「社会循環」「世界共創」「科学創発」の3つのコアエリアに科目を配置し、それを並行学修することによって、未来に起こり得る社会的な変化を幅広く学んだ後、インターンシップ等の経験も踏まえて、経済社会課題の発見に努めます。そして、一人一人異なる課題を解決に導くため、オーダーメイド型の履修指導を行い、「環境・社会」「人間・自然」の探求エリアのフィールドを往還的に学修（バックキャスト学修）しながら、自身が発見した課題の解決に向けて様々な分野の最新の知見や技術を広く深く探求し、社会変革人材の育成を目指す教育課程です。

<Society 5.0 や STEAM 教育も重視した科目配置>

科学技術の基礎となる「数理・データサイエンス基礎及び演習」や、課題発見・解決のプロセスを学ぶ「デザイン思考」「デザイン思考演習」等を必修科目として配置しています。さらに、「人工知能」や「IoT 技術」等の Society 5.0, 「未来医科学」, 「マーケティング論」等の未来課題や様々な分野の科目を配置しており、STEAM 教育も重視しています。

○アントレプレナーシップ教育の体系的な科目群

融合学域先導学類で学んだ知見を広く社会へと展開するため、1年次から4年次にかけてアントレプレナーシップの醸成に向けた科目を配置します。アントレプレナーの基礎を学んだ後、演習や国内外のインターンシップ等を通じて発想力や実践力を身に付ける体系的な科目編成です。さらに、多学年合同科目として「アントレプレナーコンテスト」を開講し、自身の学んだ知見をビジネスプランへと繋げる方法を身に付けることができます。また、学生自らが企画・立案して、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象として、自由な発想で教員や学外者とともにアプローチし、実践的に学ぶこともできます。

■入学者選抜

ダイバーシティ環境構築の一環として、次の「11種類」の学生募集を行う。

1. 一般選抜

- | | | |
|-----------------|------|------------------|
| ○前期日程／文系傾斜・理系傾斜 | 募集人員 | 文系傾斜20名・理系傾斜20名 |
| ○前期日程／文系一括・理系一括 | 募集人員 | 先導学類へは文系・理系から各3名 |

2. 特別選抜

- | | | |
|---------------------|------|-----|
| ○KUGS特別入試／総合型選抜 | 募集人員 | 2名 |
| ○KUGS特別入試／英語総合選抜 | 募集人員 | 2名 |
| ○超然特別入試／A-lympiad選抜 | 募集人員 | 若干名 |
| ○超然特別入試／超然文学選抜 | 募集人員 | 若干名 |
| ○在外留学生推薦入試 | 募集人員 | 5名 |
| ○社会人選抜 | 募集人員 | 若干名 |
| ○帰国生徒選抜 | 募集人員 | 若干名 |
| ○国際バカロレア入試 | 募集人員 | 若干名 |
| ○私費外国人留学生入試 | 募集人員 | 若干名 |

詳細は以下のURL，又はQRコードから

入学者選抜要項・学生募集要項（学域・学類）

トップ→受験生→入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/boshuyoko>

本学入試情報スマホアプリ



■本学類Webサイト

融合学域 先導学類

トップ→学域・学類・大学院等→融合学域

<https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/>